

~東日本大震災から 10 年を迎えて、ボランティアの連携・協働を考える~

平成23年3月11日に発生してから10年を迎える「東日本大震災」では、多様な支援者が駆けつけ、形を変えながらも被災者 一人ひとりに寄り添った継続的な支援が行われています。また、昨年7月豪雨の際には、コロナ禍の下、人が集まりにくい中で ボランティア活動が行われました。この10年を振り返り、支援者によってどのような連携・協働による成果がうみ出されたのか、 東北で尽力された方から話をお聞きするとともに、コロナ禍におけるボランティア活動の実態や課題などを共有し、これからの ボランティア活動について話し合います。

## 日時:令和3年2月6日(土)13:30~16:30

オンライン開催 (Zoom)…申込された方 (申込必須) に後日ZoomIDをお送りします。 主催:内閣府

開会 13:30~13:35·内閣府

第1部

第2

パネルディスカッション① …13:35~15:05

## 東日本大震災から10年、これまでの連携・協働

- · 栗田暢之 氏 (東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) 代表世話人)
- ·阿部由紀氏(石巻市社会福祉協議会課長補佐)
- ・吉田恵美子 氏(ザ・ピープル理事長)
- ・ 葛巻徹氏(いわて連携復興センター代表理事)

パネルディスカッション②… 15:15~16:30

## コロナ禍における災害ボランティア活動〜熊本の経験〜

- ·明城徹也氏(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)事務局長)
- ・樋口務氏(くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)代表理事)
- ·西村徹氏(熊本県健康福祉政策課地域支え合い支援室室長)
- · **米田進氏**(熊本県社会福祉協議会地域福祉部長)
- ・小川耕平氏(全国社会福祉協議会/全国ボランティア・市民活動振興センター 副部長)
- ·中尾晃史 氏(内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発·連携担当))

## お問い合わせ先 防災とボランティアのつどい事務局

株式会社 ダイナックス都市環境研究所 担当:津賀・細川

〒105-0003 東京都港区西新橋3-15-12 GGHOUSE 5F TEL:03(5402)5355 MAIL:bousai01@dynax-eco.com

▶詳しくはWEBサイトで 内閣府 防災ボランティア

(検索)

お申込みについて 右QRコードよりお申込みください。

QRコードが読みとれない方は、 お問い合わせ先までご連絡ください。



プログラ